

# 兵庫県下の経済動向

平成26年6月

但馬銀行  
TAJIMA BANK

# 目 次

概 況	1
生 産	2
個 人 消 費	4
設 備 投 資	6
住 宅 投 資	8
公 共 工 事	9
貿 易	10
物 価	11
雇 用	13
信 用 保 証	15
金 融	16
倒 産	17

## 【概 況】

最近の県内景気は、緩やかに回復しつつある。個人消費は基調として緩やかに持ち直している。この間、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動は小幅となっている。また、設備投資は持ち直しているほか、公共投資は増加している。住宅投資は増加しているものの、足もとでは消費税率引き上げに伴う影響もみられる。

需要面の動きをみると、個人消費は、百貨店売上高が2か月連続で前年実績を下回った。

乗用車販売は、普通乗用車、および小型乗用車が減少し、2か月連続で前年を下回った。

家電販売は、持ち直しつつある。

設備投資は、製造業、非製造業ともに増加しており、26年度は増加となる見込み。

住宅投資は、貸家、給与住宅、分譲住宅が増加したが、持家が減少し、全体では2か月ぶりに前年を上回った。

公共工事請負金額は、独立行政法人等、その他の団体で大幅減、神戸市で2桁減、神戸市を除く市町で減少となるも、国、兵庫県で大幅増となったことから、4か月連続して前年を上回った。基調としては増加している。

貿易は、輸出は中国および米国向けが減少したが、中国を含むアジア、EU向けが増加し、2か月連続で前年を上回った。また、輸入については17か月ぶりに前年を下回った。

生産活動は、鉱工業生産指数でみると、7か月連続して前年を上回った。

雇用関係では、有効求人倍率は前月を上回り、新規求人数も前年を上回った。

また、所定外労働時間、常用労働者数は前年を上回ったが、一人当たり名目賃金は前年を下回った。

金融情勢は、預金、貸出ともに前年を上回って推移している。

企業倒産は、件数は前年を上回ったが、負債金額は前年を下回った。

### 兵庫DI及び兵庫CIから見た県内の景気動向

3月の兵庫DIは、先行指数14.3%、一致指数55.6%、遅行指数37.5%となった。

3月の兵庫CIは、先行指数102.7、一致指数116.5、遅行指数105.6となった。

兵庫DIは、先行指数が7か月ぶりに50%を下回り、一致指数が7か月連続で50%を上回った。

一方、兵庫CIは、先行指数が3か月連続で前月差減、一致指数は2か月ぶりに前月差増、遅行指数は4か月ぶりに前月差増となった。

県統計課は基調判断を「一致指数は、改善を示している。」としている。

\*兵庫DIと兵庫CI・・・兵庫県内の経済指標から景気の状態を導く指数。県景気変動指数(兵庫DI)は50%が好不況の別れ目で、景気の拡張、後退などを判断する。県景気総合指数(兵庫CI)は景気変動の大きさを測定し、指数の前月との差の大小をみる。

資料：兵庫県企画管理部管理局統計課

## 【生 産】

4月の県鉱工業生産指数(平成22年=100、季節調整済、速報)は101.5、前月比1.5%減少。出荷指数は91.7、同5.3%減少。在庫指数は117.3、同5.9%上昇。在庫率は128.1、同20.6%上昇。生産指数は3か月連続で低下、出荷指数は2か月ぶりに低下、在庫指数は4か月ぶりに上昇した。

前年同月比(原指数)では、生産は9.8%増で7か月連続で上昇、出荷は7.0%増で7か月連続で上昇、在庫は0.5%減で3か月連続で低下した。

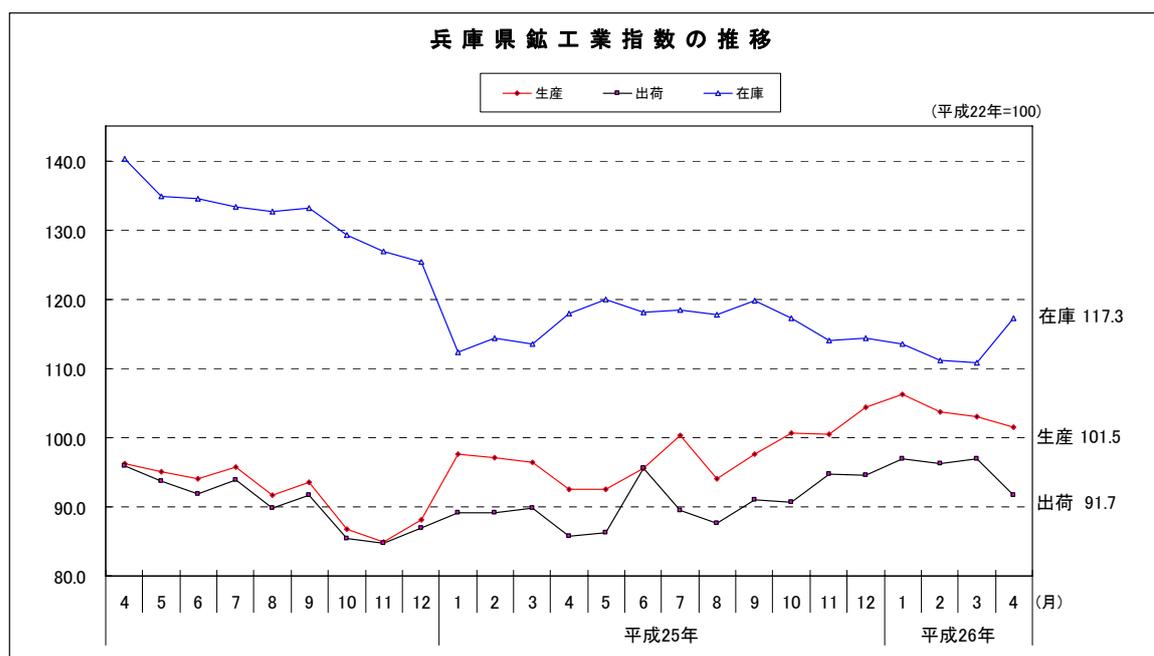
主要業種の生産動向を対前月比でみると、セメント等の「窯業・土石製品工業」が8.6%、発動機部品等の「輸送機械工業」が2.1%各々上昇し、ガス風呂がま等の「金属製品工業」が0.5%、亜鉛めっき鋼板の「鉄鋼業」が3.2%、ノート型パソコンの「情報通信機械工業」が4.2%、一般用タービン発電機等の「電気機械工業」が5.0%、ビール類等の「食料品工業」が5.2%、蒸気タービン部品等の「はん用・生産用・業務用機械工業」が7.5%、化粧品等の「化学工業」が11.4%、各々下落した。

県統計課は、基調判断を「横ばい傾向にあるが、一部に弱い動きがみられる。」とした。

4月の兵庫県鉱工業指数 (速報、平成22年=100)

区 分	季節調整 済指数	対前月比 増減 (%)	原 指 数	
			原 指 数	対前年同月 比増減 (%)
生 産	101.5	▲ 1.5	97.7	9.8
出 荷	91.7	▲ 5.3	87.2	7.0
在 庫	117.3	▲ 5.9	110.9	▲ 0.5
在 庫 率	128.1	20.6	124.0	16.9

資料：兵庫県企画県民部統計課



#### 4月の県内鉱工業生産指数(主要9業種の動向)

(速報、平成22年=100)

業 種	指 数	対前月比 増減 %	指数の上昇又は低下に寄与した品目	
鉄 鋼	101.0	▲ 3.2	上昇	普通鋼鋼帯、ブリキ、特殊鋼熱間圧延鋼材、その他の金属めっき鋼板
			低下	亜鉛めっき鋼板、鋼半製品、H形鋼、粗鋼
金属製品	104.5	▲ 0.5	上昇	橋りょう、超硬チップ、うす板ばね、ガス温風暖房機
			低下	ガス風呂がま、作業工具、ガス温水給湯暖房機、ガス湯沸器
はん用・ 生産用・ 業務用 機械	89.1	▲ 7.5	上昇	ボイラ部品、混合機・かくはん機・粉碎機、ダイヤモンド工具、プレス用金型
			低下	蒸気タービン部品、ショベル系掘削機械、圧縮機、熱交換器
電気機械	113.0	▲ 5.0	上昇	リチウムイオン蓄電池、非標準油入り変圧器(10000kVA以上)、工業用計測制御機器、アーク溶接機
			低下	一般用タービン発電機、開閉制御装置、電力変換装置、電気がま
情報通信 機械	109.2	▲ 4.2	上昇	固定通信装置、カーナビゲーション、無線位置測定装置、搬送装置
			低下	ノート型パソコン、テレメータ・テレコントロール、携帯電話、入出力装置
輸送機械	107.4	2.1	上昇	発動機部品、船用ディーゼル機関、二輪自動車(125ml超)、機体部品
			低下	旅客車、特装ボデー、駆動伝導・操縦装置部品、内燃機関電送品
窯業・ 土石製品	111.8	8.6	上昇	セメント、ガラス製容器類、プレストレストコンクリート製品、ファインセラミックス(構造材)
			低下	タイル、複層ガラス、ほうろろ鉄器製品、不定形耐火物
化 学	103.0	▲ 11.4	上昇	自動車排気ガス浄化用触媒、二塩化エチレン、塩化ビニル(モノマー)、脂肪酸
			低下	化粧品、医薬品、溶剤系合成樹脂塗料、複合肥料(化成肥料)
食 料 品	96.9	▲ 5.2	上昇	清酒、チーズ、塩、めん類
			低下	ビール類、精米、肉製品、しょうゆ

資料：兵庫県企画県民部統計課

## 【個人消費】『百貨店売上』

兵庫県百貨店協会がまとめた5月の県内百貨店売上高は、前年同月比3.7%減の151億38百万円だった。消費税増税前の駆け込み需要の反動減があった4月の15.4%減からマイナス幅は大幅に減少した。

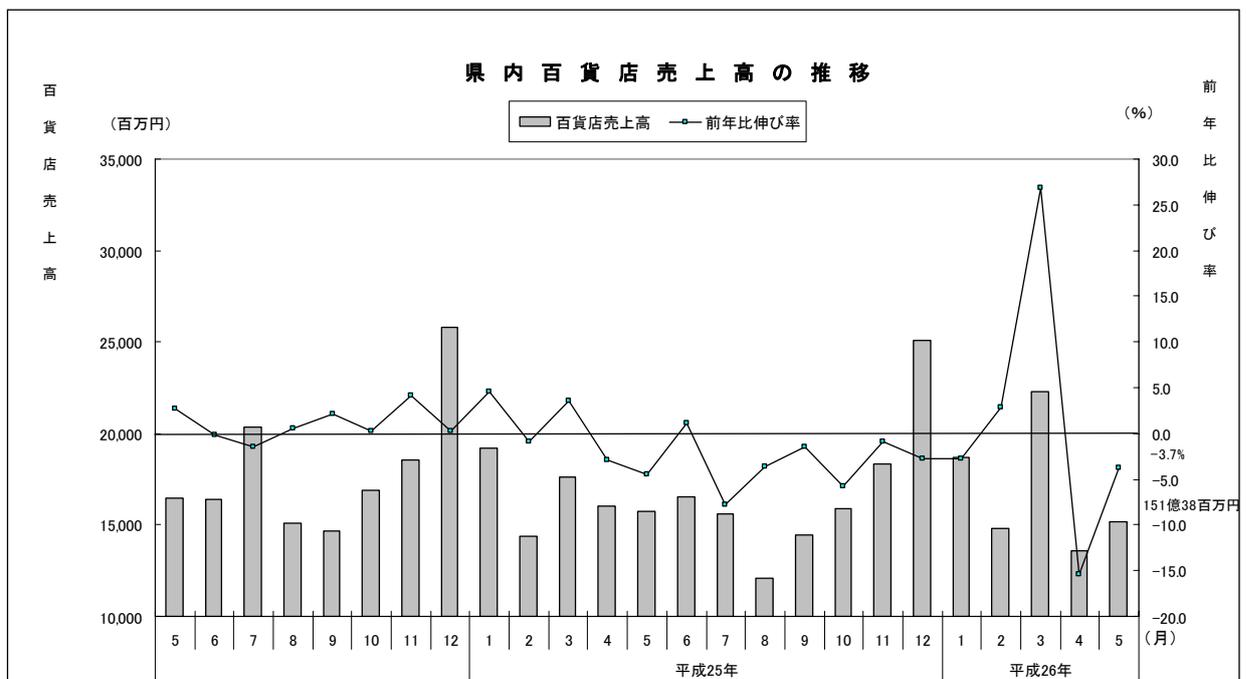
全国平均4.2%減となり、2か月連続で前年水準を下回った。消費税増税前に駆け込み需要が膨らんだ反動が続いた。ただ、減少幅は4月(12.0%減)よりも大幅に縮小しており。日本百貨店協会は「回復基調は明確だ」と分析している。

神戸地区は3.4%減(4月は14.5%減)。美術や宝飾品などは苦戦したが、高級ブランドの婦人服やクールビズの紳士服が好調だった。姫路地区は5.3%減(同19.3%減)となった。

### 5月の県内百貨店売上高

品目 \ 地区	神戸	姫路	合計
紳士服・洋品	675(▲7.4)	175(▲4.1)	851(▲6.8)
婦人服・洋品	3,759(▲3.1)	623(▲0.7)	4,382(▲2.8)
子供服・洋品	362( 2.0)	83(▲3.3)	446( 1.0)
身の回り品	1,262(▲8.3)	282(▲6.1)	1,545(▲7.9)
家庭用品	483(▲15.0)	141(▲12.3)	625(▲14.4)
食料品	3,658( 3.1)	733(▲4.8)	4,392( 1.7)
雑貨	1,668(▲7.9)	317(▲13.9)	1,985(▲8.9)
その他	627(▲5.7)	281(▲1.9)	908(▲4.5)
計	12,499(▲3.4)	2,638(▲5.3)	15,138(▲3.7)

\* 単位百万円、百万円未満切捨て。( )内は前年同月比伸び率% 資料：兵庫県百貨店協会  
 ※ 神戸地区には芦屋・宝塚、姫路地区には加古川を含む。



## 【個人消費】『新車登録』

県内5月の乗用車新車登録台数は11,461台、前年同月比6.3%減と2か月連続で前年同月の実績を下回った。

5月の乗用車新車登録を車種別にみると、普通乗用車は3,655台(前年同月比19.2%減)、小型乗用車は3,354台(同3.6%減)、軽乗用車は4,452台(同5.3%増)、乗用車合計で11,461台(同6.3%減)となった。

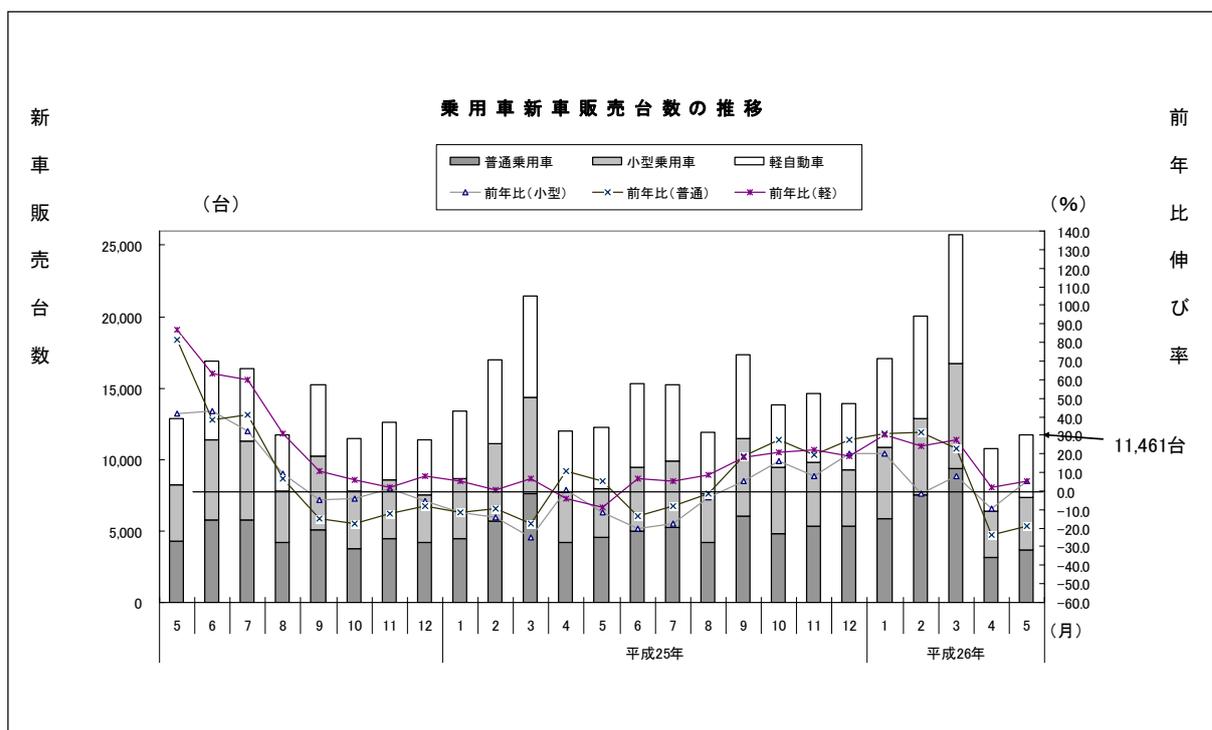
また貨物車等では、普通貨物車は298台(同29.6%増)、小型貨物車601台(同11.7%増)、軽貨物車は1,102台(同8.6%減)、バスは11台(同50.0%減)となった。

### 5月の新車販売(登録)台数

(単位：台、%)

車種	兵庫県	前年同月比	全国	前年同月比
普通乗用車	3,655	▲ 19.2	85,489	▲ 12.2
小型乗用車	3,354	▲ 3.6	93,164	▲ 1.6
軽乗用車	4,452	5.3	125,712	7.9
<b>乗用車合計</b>	<b>11,461</b>	<b>▲ 6.3</b>	<b>304,365</b>	<b>▲ 1.3</b>
普通貨物車	298	29.6	9,624	6.5
小型貨物車	601	11.7	18,116	3.8
軽貨物車	1,102	8.6	30,745	▲ 4.2
<b>貨物車合計</b>	<b>2,001</b>	<b>12.2</b>	<b>58,485</b>	<b>▲ 0.2</b>
バス	11	▲ 50.0	513	▲ 19.0
<b>登録車総計</b>	<b>13,473</b>	<b>▲ 4.0</b>	<b>363,363</b>	<b>▲ 1.2</b>

資料：自販連兵庫県支部、兵庫県軽自動車協会



## 【設備投資】

内閣府が6月12日に発表した機械受注統計によると、平成26年4月実績は以下のとおり。

最近の機械受注総額(季節調整値)の動向をみると、26年3月前月比4.0%増の後、26年4月は同34.8%増の3兆1,260億円となった。

このうち民間設備投資の先行指標である「船舶・電力を除く民需」は、3月前月比19.1%増の後、4月は同9.1%減の8,513億円となった。

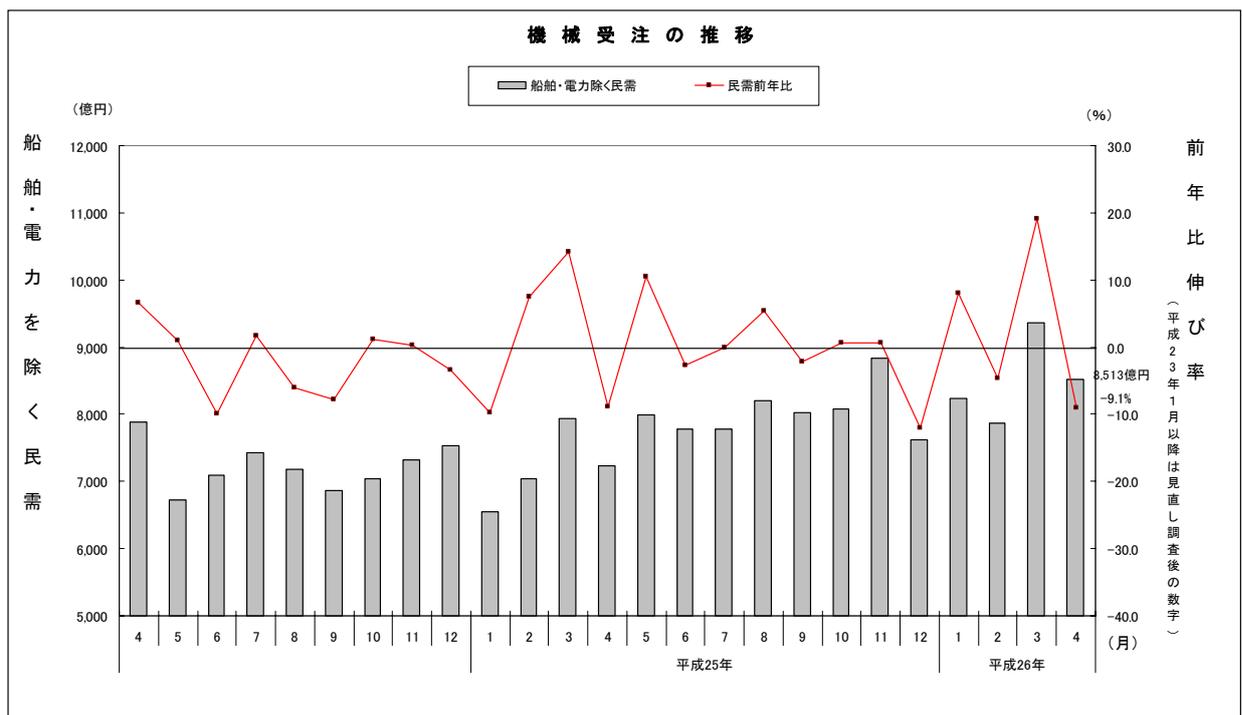
内訳をみると、製造業が同9.4%減の3,484億円、非製造業(船舶・電力を除く)は同0.9%増の5,195億円であった。

製造業民需受注を業種別でみると、前月比で増加したのは15業種中、鉄鋼業(42.8%増)、化学工業(34.3%増)、造船業(30.2%増)、金属製品(29.4%増)、精密機械(15.8%増)、一般機械(9.4%増)、情報通信機械(4.8%増)、食品製造業(4.4%増)等の8業種で、その他輸送用機械(57.0%減)、「その他製造業」(48.1%減)、非鉄金属(25.8%減)、石油製品・石炭製品(9.3%の減)、自動車・同付属品(7.6%減)、パルプ・紙・紙加工品(5.5%減)、電気機械(2.8%減)等の7業種は減少となった。

一方、非製造業では、前月比で増加したのは12業種中、不動産業(90.1%増)、卸売業・小売業(77.0%増)、金融業・保険業(74.7%増)、運輸業・郵便業(39.0%増)、建設業(32.1%増)、リース業(27.8%増)、鉱業・採石業・砂利採取業(11.3%増)等の7業種で、通信業(25.3%減)、電力業(14.6%減)、農林漁業(13.6%減)、「その他非製造業」(10.5%減)、情報サービス業(1.9%減)等の5業種は減少となった。

兵庫県下においては、2014年度設備投資額は、製造業、非製造業ともに増加を見込んでおり、全産業でも増加計画。

\*全国企業短期経済観測調査(短観)結果 2014年3月 ——兵庫県——  
設備投資計画：全産業前年度比+6.6% (製造業+7.6%、非製造業+2.6%)



機械受注統計 (平成26年月分)

	25年 4～6月 実績	7～9月 実績	10～12月 実績	26年 1～3月 実績	26年 1月 実績	2月 実績	3月 実績	4月 実績
受注総額	62,232 ( 3.9) [ 4.7]	65,886 ( 5.9) [ 21.4]	65,764 (-0.2) [ 15.9]	68,594 ( 4.3) [ 10.8]	23,082 ( 8.1) [ 28.8]	22,313 (-3.3) [ 20.0]	23,198 ( 4.0) [ -0.3]	31,260 ( 34.8) [ 53.6]
民 需	26,882 ( 5.8) [ 2.5]	28,259 ( 5.1) [ 9.9]	28,822 ( 2.0) [ 14.0]	30,577 ( 6.1) [ 18.5]	10,633 ( 17.7) [ 32.6]	9,179 (-13.7) [ 14.9]	10,765 ( 17.3) [ 14.5]	10,541 (-2.1) [ 22.4]
〃 (Ex 船・電)	22,908 ( 6.4) [ 6.4]	23,997 ( 4.8) [ 9.6]	24,442 ( 1.9) [ 13.3]	25,474 ( 4.2) [ 16.4]	8,244 ( 8.1) [ 23.6]	7,863 (-4.6) [ 10.8]	9,367 ( 19.1) [ 16.1]	8,513 (-9.1) [ 17.6]
製造業	8,909 ( 5.5) [-4.2]	9,633 ( 8.1) [ 8.2]	9,829 ( 2.0) [ 14.8]	10,213 ( 3.9) [ 22.1]	3,259 ( 4.9) [ 24.0]	3,108 (-4.6) [ 8.0]	3,846 ( 23.7) [ 29.5]	3,484 (-9.4) [ 19.3]
非製造業 (Ex 船・電)	14,377 ( 10.6) [ 14.1]	14,344 (-0.2) [ 10.4]	15,052 ( 4.9) [ 12.4]	14,898 (-1.0) [ 11.8]	5,002 ( 6.1) [ 23.1]	4,746 (-5.1) [ 12.6]	5,151 ( 8.5) [ 6.6]	5,195 ( 0.9) [ 16.7]
官 公 需	8,454 ( 18.1) [ 7.4]	9,197 ( 8.8) [ 34.0]	8,135 (-11.5) [ 14.4]	7,196 (-11.5) [ -9.1]	2,486 (-7.6) [ 13.5]	2,595 ( 4.4) [ 4.7]	2,115 (-18.5) [ -17.6]	2,971 ( 40.5) [ 18.5]
外 需	24,402 ( 3.2) [ 7.8]	27,009 ( 10.7) [ 34.7]	25,814 (-4.4) [ 18.4]	27,499 ( 6.5) [ 12.8]	8,933 ( 3.7) [ 29.8]	9,136 ( 2.3) [ 31.9]	9,429 ( 3.2) [ -4.3]	16,148 ( 71.3) [ 101.7]
代 理 店	2,678 (-8.4) [-4.1]	2,884 ( 7.7) [ 4.6]	3,076 ( 6.7) [ 16.2]	2,833 (-7.9) [-6.3]	1,063 ( 3.2) [ 18.9]	994 (-6.5) [ 9.3]	776 (-22.0) [ -29.7]	987 ( 27.3) [ 24.4]

資料：内閣府経済社会総合研究所

- 備考
1. 季節調整系列は個別に季節調整を行っているため、需要者別内訳の合計は全体の季節調整値とは一致しない。
  2. 四半期は合計額、( )内は対前期(月)増減率、[ ]内は原系列による対前年同期(月)増減率。

## 【住宅投資】

県内4月の新設住宅着工戸数は、総数で2,719戸(前年同月比11.3%増)となり、賃家、給与住宅、分譲住宅が増加したが、持家が減少し、全体では2か月ぶりに前年を上回った。また、前月比では174戸の増加となった。

### 4月の新設住宅着工戸数

(速報、単位：戸、%)

	兵庫県	前年同月比	全国	前年同月比
持家系・持家	744	▲ 19.3	23,799	▲ 16.1
・分譲住宅	995	15.4	19,710	▲ 7.8
貸家系・貸家	948	48.6	31,177	12.0
・給与住宅	32	52.4	600	95.4
<b>総数</b>	<b>2,719</b>	<b>11.3</b>	<b>75,286</b>	<b>▲ 3.3</b>

資料：兵庫県住宅計画課、国土交通省

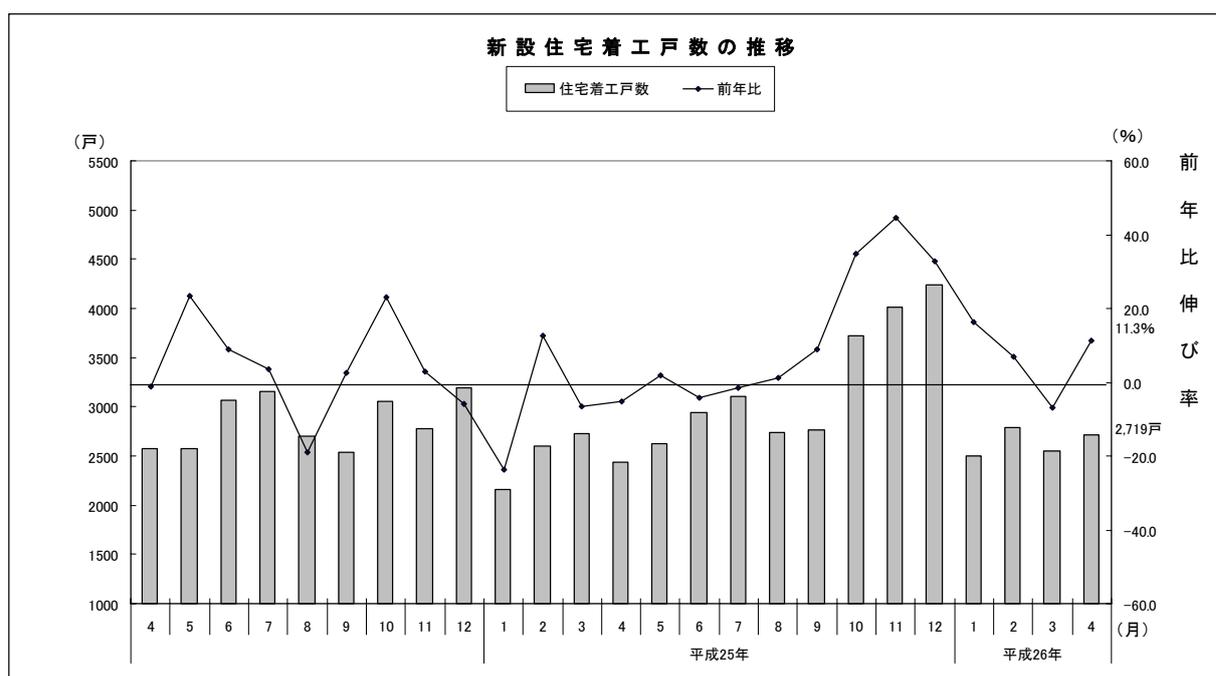
### 4月の地域別着工戸数

(戸)

地域	神戸	阪神南	阪神北	東播磨	北播磨	中播磨	西播磨	但馬	丹波	淡路	計
戸数	590	442	427	611	83	404	70	25	22	45	2,719
前月比	-16.8	-26.3	8.1	82.4	-48.1	162.3	-27.1	-3.8	-42.1	40.6	6.8

資料：兵庫県住宅政策課

平成26年4月の新設住宅着工累計は、総数で2,719戸、前年同期比276戸の増加となった。利用関係別では「持家」が744戸(前年同期比19.3%減)、「貸家」が948戸(同48.6%増)、「分譲住宅」が995戸(同15.4%増)、「給与住宅」が32戸(同52.4%増)となった。



## 【公共工事】

5月の県内公共工事動向を西日本建設業保証(株)兵庫支店の前払金保証取扱状況でみると、件数は338件で前年同月比17.0%の増加、請負金額は331億円で同0.5%の増加となり、金額ベースでは4か月連続で前年同月を上回った。

発注者別(金額ベース)にみると、「独立行政法人等」前年同月比▲56.6%、「その他の団体」同▲47.3%、「神戸市」同▲10.2%、「神戸市を除く市町」同▲4.3%で減少となったが、「国」同34.2%、「兵庫県」は同32.8%の増加となり、前年同月を上回った。

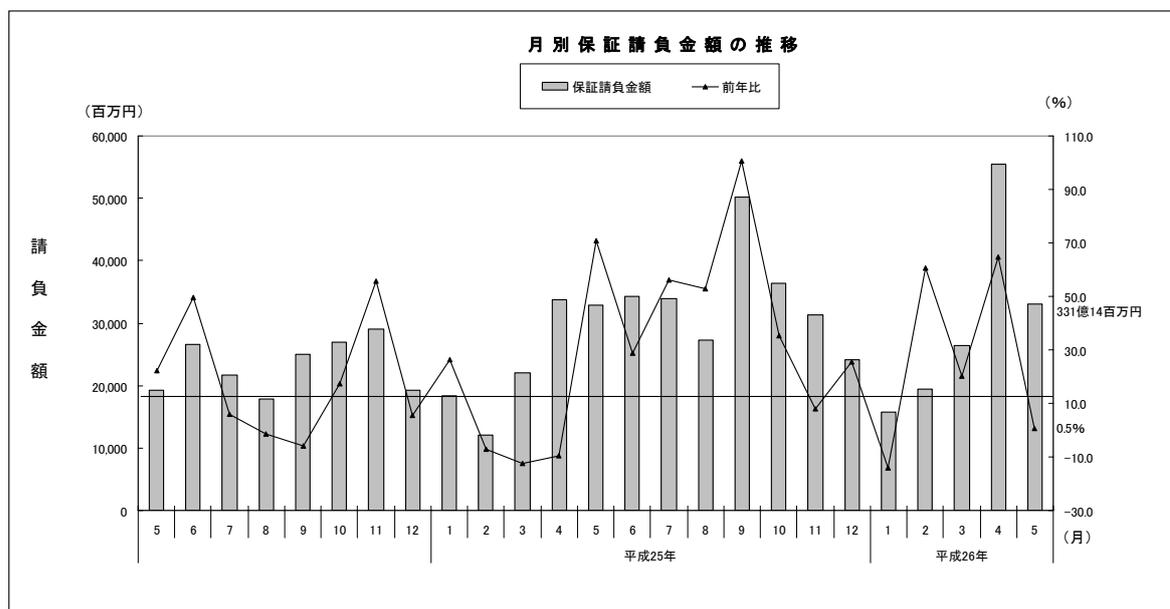
地域別(金額ベース)では、中播磨(前年同月比352.3%)、淡路(同191.4%)、阪神南(同38.0%)、丹波(同31.1%)、但馬(同11.5%)が増加となり、西播磨(同▲59.4%)、東播磨(同▲37.8%)、北播磨(同▲35.9%)、神戸市(同▲34.7%)、阪神北(同▲30.5%)が減少となった。

### 5月の公共工事発注状況

金額単位未満切捨て、( )内は前年同月比伸び率増減：%

発注者	件数	金額(百万円)	大型工事明細(5億円以上)
国	30( 25.0)	3,687( 34.2)	
独立行政法人等	10( 0.0)	2,062(▲56.6)	新名神高速道路猪名川橋(PC上部工)工事
兵庫県	153( 17.7)	17,663( 32.8)	道路防災安第5010-0-002号(主)篠山山南線川代道路(仮称)川代1号トンネル建設工事 姫建(神谷)第1号神谷ダム太陽光発電施設設置工事 病企第4号県立尼崎・塚口統合新病院第1期建築工事
神戸市	24(▲11.1)	1,611(▲10.2)	
神戸市を除く市町	104( 20.9)	5,843(▲ 4.3)	
その他の団体	17( 41.7)	2,246(▲47.3)	遠阪(本)第1号道路維持修繕工事(遠阪トンネル天井板撤去・覆工補修工事)
合計	338( 17.0)	33,114( 0.5)	

資料：西日本建設業保証(株)



## 【貿易】

平成26年5月の神戸港貿易概況(速報)によると、輸出入総額は6,929億円、前年同月比1.6%の増加で、総額ベースで15か月連続して増額となった。輸出は、重電機器などが増加したものの、建設用・鉱山用機械などが減少した。一方、輸入は、半導体等電子部品などが増加したものの、無機化合物などが減少した。

輸出は4,330億円(前年同月比3.2%増)と2か月連続で増加した。

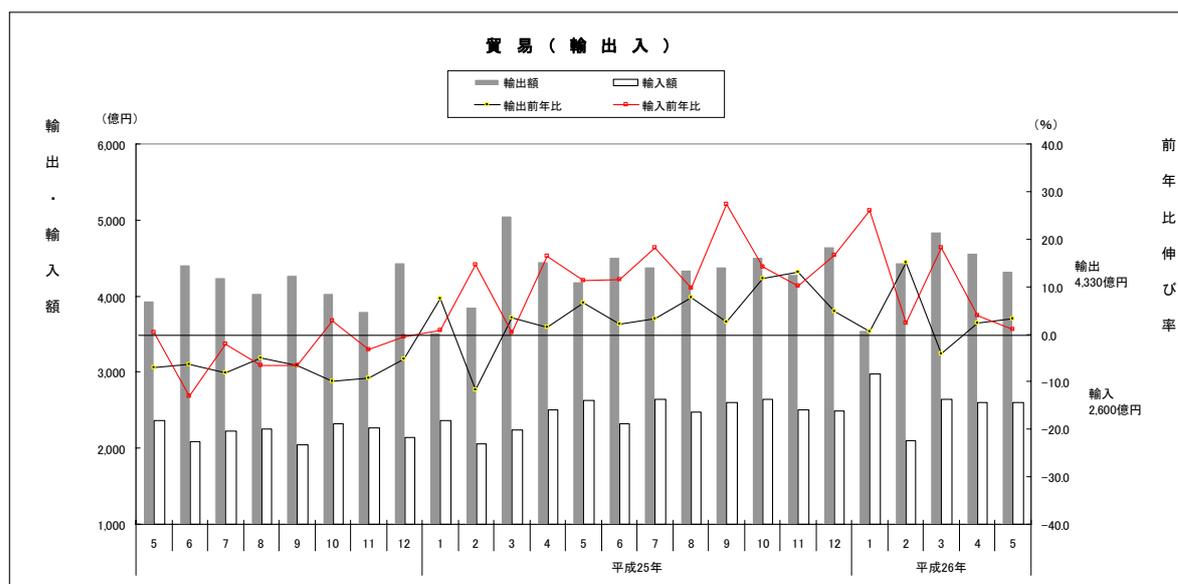
主要品目では、原動機(前年同月比18.7%増、3か月ぶりにプラス)、プラスチック(同11.3%増、17か月連続プラス)、織物用糸及び繊維製品(同0.3%増、3か月ぶりにプラス)が増加し、建設用・鉱山用機械(同17.4%減、2か月ぶりにマイナス)が減少した。

主要地域(国)別では、EU(前年同月比19.1%増、3か月ぶりにプラス)、アジア(中国含む)(同1.7%増、3か月ぶりにプラス)が増加し、中国(同6.0%減、2か月ぶりにマイナス)、米国(同5.9%減、23か月ぶりにマイナス)が減少した。

輸入は2,600億円(前年同月比1.0%減)と17か月ぶりにマイナス。

主要品目では、非鉄金属(前年同月比19.3%増、2か月ぶりにプラス)が増加し、有機化合物(同12.0%減、3か月ぶりにマイナス)、衣類および同付属品(同6.0%減、2か月連続マイナス)、たばこ(同4.7%減、13か月連続マイナス)が減少した。

主要地域(国)別では、米国(前年同月比12.7%増、2か月ぶりにプラス)が増加し、EU(同7.7%減、2か月連続マイナス)、中国(同0.6%減、3か月ぶりにマイナス)、アジア(中国含む)(同0.2%減、3か月ぶりにマイナス)が減少した。



## 【物 価】『消費者物価』

5月の神戸市消費者物価指数は、総合指数が102.9(平成22年=100)となり、前月比は0.5%上昇、前年同月比は、3.0%上昇となった。生鮮食品を除く総合指数は102.9となり、前月比は0.4%上昇、前年同月比は2.8%上昇となった。また、食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数は101.3となり、前月比は変わらず、前年同月比は1.9%上昇となった。

前月からの動きを見ると、教養娯楽サービスなどの値下がりにより「教養娯楽」が0.5%、医薬品・健康保持用摂取品などの値下がりにより「保健医療」が0.7%、シャツ・セーター・下着類などの値下がりにより「被服及び履物」が0.1%下落した。

しかしながら、電気代などの値上がりにより「光熱・水道」が4.2%、魚介類などの上昇により「食料」が0.7%、設備修繕・維持の値上がりにより「住居」が0.3%、通信などの値上がりにより「交通・通信」が0.3%、それぞれ上昇した結果、総合指数では0.5%の上昇となった。

### 5月の神戸市消費者物価指数(速報)

	総合	食料	住居	光熱水道	家具 家事用品	被服及 履物	保健 医療	交通 通信	教育	教養 娯楽	諸雑費	生鮮食品を 除く総合	食料・エネ ルギーを 除く総合
指 数	102.9	101.4	101.6	121.6	103.3	103.6	98.7	102.9	101.9	97.6	108.3	102.9	101.3
前月比	0.5	0.7	0.3	4.2	0.0	-0.1	-0.7	0.3	0.0	-0.5	0.0	0.4	0.0
前年同月比	3.0	4.5	-0.2	8.0	6.9	2.6	0.9	2.9	0.9	3.2	4.9	2.8	1.9

(注)平成22年=100

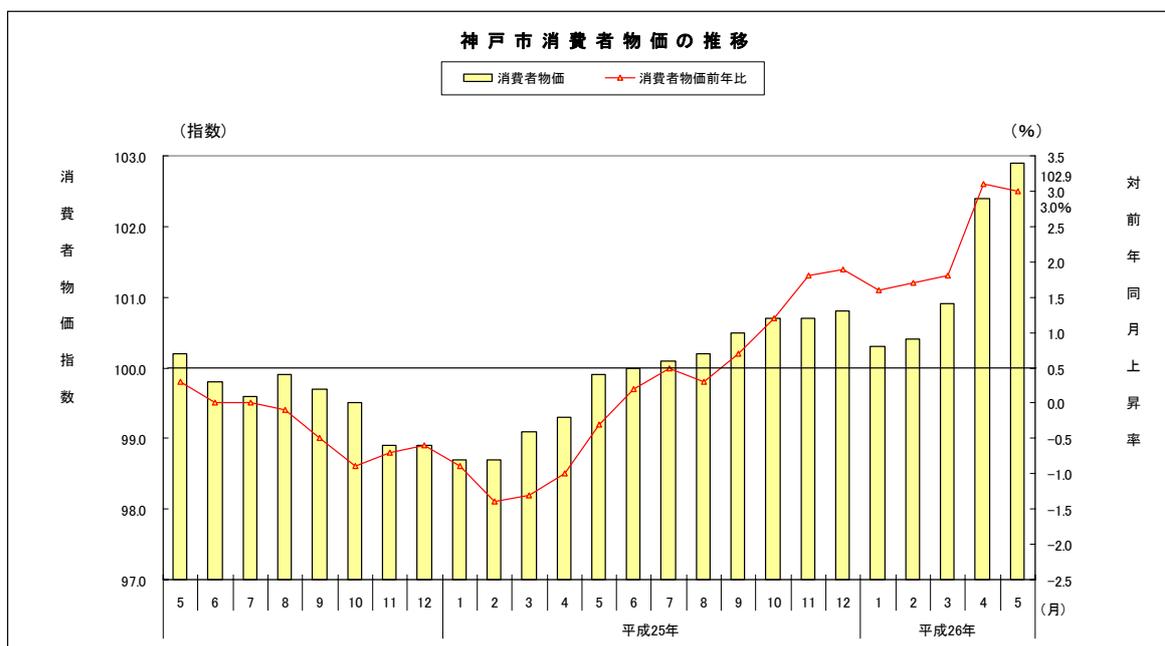
資料：兵庫県統計課

#### ○対前月比値上がりした主な品目

- 電気代 (＋ 4.9%)・・・電気代
- 魚介類 (＋ 4.0%)・・・あじ、いか、たらこ

#### ○対前月比値下がりした主な品目

- 教養娯楽サービス (▲ 0.5%)・・・宿泊料
- 医薬品・健康保持用摂取品 (▲ 1.9%)・・・胃腸薬、ドリンク剤、サプリメント



## 【物 価】『企業物価』

日本銀行調査統計局が6月11日に発表した、企業物価指数(速報)による2014年5月の企業物価指数は次のとおり。

### 5月の企業物価指数

(速報、2010年=100)

	指 数	前月比(%)	前年同月比(%)
国内企業物価	106.1	0.3	4.4
輸 出 物 価	108.2	▲0.7	▲0.8
輸 入 物 価	126.2	▲0.6	0.7

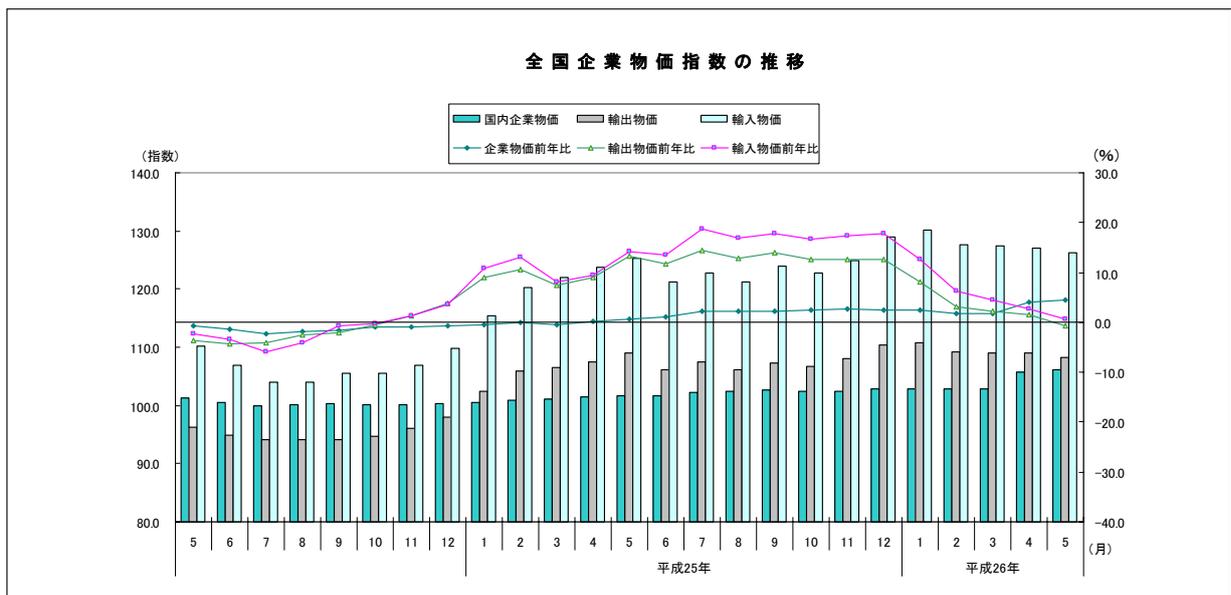
資料：日本銀行調査統計局

国内企業物価は、電力・都市ガス・水道（前月比+3.8%＜業務用高圧電力など＞）、非鉄金属（同+0.8%＜銅地金など＞）、石油・石炭製品（同+0.5%＜ガソリンなど＞）等が上昇したが、農林水産物（同-0.8%＜鶏卵など＞）、情報通信機器（同-0.8%＜テレビなど＞）などが下落した。全体では前月比0.3%となった。

5月は106.1と前年同月比で4.4%上昇した。消費税を除く国内企業物価指数は103.2で前月比0.2%、前年同月比1.6%上昇した。

輸出物価は、電気・電子機器（前月比-1.4%＜モス型集積回路（除モス型メモリ集積回路）＞）、その他産品・製品（同-0.8%＜プラスチックフィルム・シートなど＞）、化学製品（同-0.8%＜塩化ビニルモノマーなど＞）、はん用・生産用・業務用機器（同-0.6%＜半導体製造装置など＞）、輸送用機器（同-0.4%＜普通乗用車など＞）が下落し、円ベースでは前月比0.7%の減少（前年同月比-0.8%）となった。

輸入物価は、金属・同製品（前月比0.6%＜ニッケル地金など＞）等が上昇したが、石油・石炭・天然ガス（同-1.2%＜液化天然ガスなど＞）、はん用・生産用・業務用機器（同-0.9%＜医療用機器など＞）、電気・電子機器（同-0.6%＜印刷装置など＞）等が下落し、円ベースでは前月比0.6%の減少（前年同月比+0.7%）となった。



## 【雇 用】

### (1) 求人状況

県内4月の新規求人数(全数)は、29,430人(前年同月比10.1%増)で、10か月連続して前年を上回った。また、月間有効求人数(全数)は79,961人(同10.0%増)で48か月連続して前年を上回った。

雇用形態別(新規求人)にみると、一般常用では前年同月比10.9%増で10か月連続して前年を上回り、パートタイム(常用的パート+臨時的パート)については同7.9%増で5か月連続して前年を上回った。また臨時・季節では同24.9%増で6か月連続して前年を上回った。

さらに、新規求人を主要産業別にみると、建設業(前年同月比12.6%増)、製造業(同23.0%増)、運輸業、郵便業(同18.2%増)、卸売業、小売業(同7.7%増)、学術研究、専門・技術サービス業(同22.0%増)、医療、福祉(同13.4%増)、サービス業(同21.1%増)は前年を上回り宿泊業、飲食サービス業(同4.5%減)、生活関連サービス業、娯楽業(同23.6%減)は前年を下回った。

### (2) 求職状況

4月の新規求職申込件数(全数)は30,322件(前年同月比3.9%減)で9か月連続して前年を下回った。

また、月間有効求職者数(全数)は98,968人(同7.5%減)で47か月連続して前年を下回った。

雇用形態別(新規求職)にみると、一般常用では前年同月比5.4%減で9か月連続して前年を下回り、パートタイム(常用的パート+臨時的パート)では同1.1%減で3か月連続で前年を下回った。また、臨時・季節については、前年同月比20.2%減で8か月ぶりに前年を上回った。

さらに、新規常用求職者(パートを除く)を就業・不就業の態様別にみると、在職者は前年同月比15.9%増で8か月連続して増加した。事業主都合離職者は同17.5%減で15か月連続、自己都合離職者は同3.9%減で7か月連続、自営・他は同17.4%減で35か月連続、無業者は同11.4%減で28か月連続して前年を下回った。

なお、雇用保険失業給付の受給者実人員は、20,314人(前年同月比13.7%減)で、15か月連続して前年を下回った。

### (3) 求人倍率状況

4月の求人倍率(季節調整値)は、新規求人倍率が1.38倍(前月比0.05ポイント増)で前月を上回り、有効求人倍率については0.87倍(前月比0.02ポイント増)で前月を上回った。

### (4) 失業者の状況

4月の全国の完全失業率(季節調整値)は3.6%、完全失業者数(原数値)は254万人(前年同月比37万人減)となった。また、近畿の完全失業率(原数値)は4.3%(前年同月比と同水準)で、完全失業者数(原数値)は44万人(前年同月比1万人減)となった。



## 【信用保証】

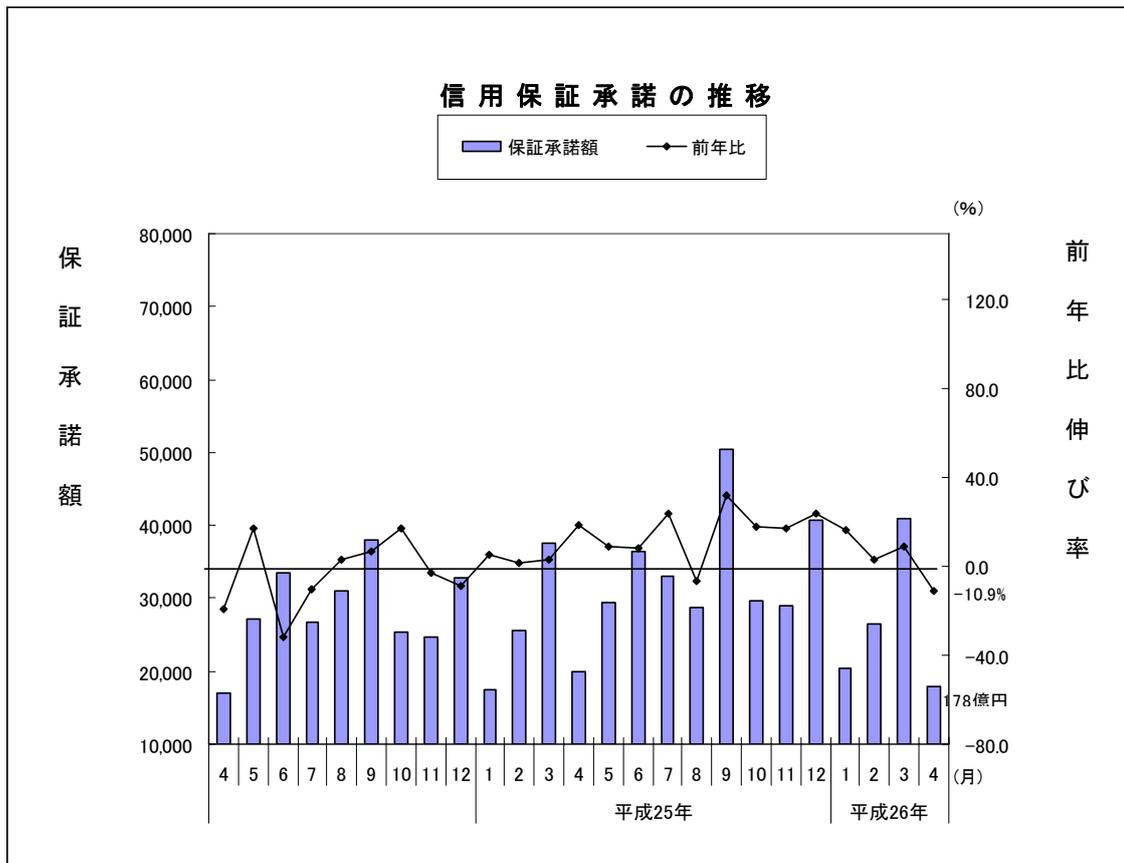
兵庫県信用保証協会による4月の保証承諾実績は、件数で1,398件(前年同月比1.8%増)、金額は178億63百万円(同10.9%減)となり、件数は前年実績を上回ったが、金額は前年実績を下回った。

資金使途別では、運転資金16,816百万円(前年同月比10.0%減)、設備資金369百万円(12.6%減)となり、運転資金、設備資金ともに前年同月を下回った。

業種別(金額ベース)では、「飲食店」693百万円(前年同月比47.1%増)、「不動産業」848百万円(同38.6%増)、「サービス業」2,652百万円(同35.3%増)、「運送・倉庫業」972百万円(同1.5%増)等で前年同月を上回り、「建設業」4,190百万円(同11.8%減)、「小売業」2,151百万円(同15.0%減)、「卸売業」2,778百万円(同24.1%減)、「製造業」2,664百万円(同33.5%減)等で前年同月を下回った。

一方、同月の代位弁済は、147件(前年同月比49.5%減)、18億28百万円(同42.9%減)となった。

4月末の保証債務残高は、100,838件(前年同月比5.5%減)、1兆1,558億56百万円(同5.6%減)となった。



## 【金融】

4月末の県内金融機関の預貸金残高(日本銀行神戸支店調べ)は以下の通り。

(単位：億円、%)

	預 金	前年同月比	貸 出	前年同月比
都市銀行等	1468,589	2.2	54,308	▲ 1.3
地方銀行	25,412	2.6	22,033	4.7
第二地方銀行	33,126	2.9	20,972	4.6
信用金庫	81,436	1.7	37,660	1.2
その他	17,135	▲1.6	17,342	0.4
計	305,665	1.9	152,315	1.1

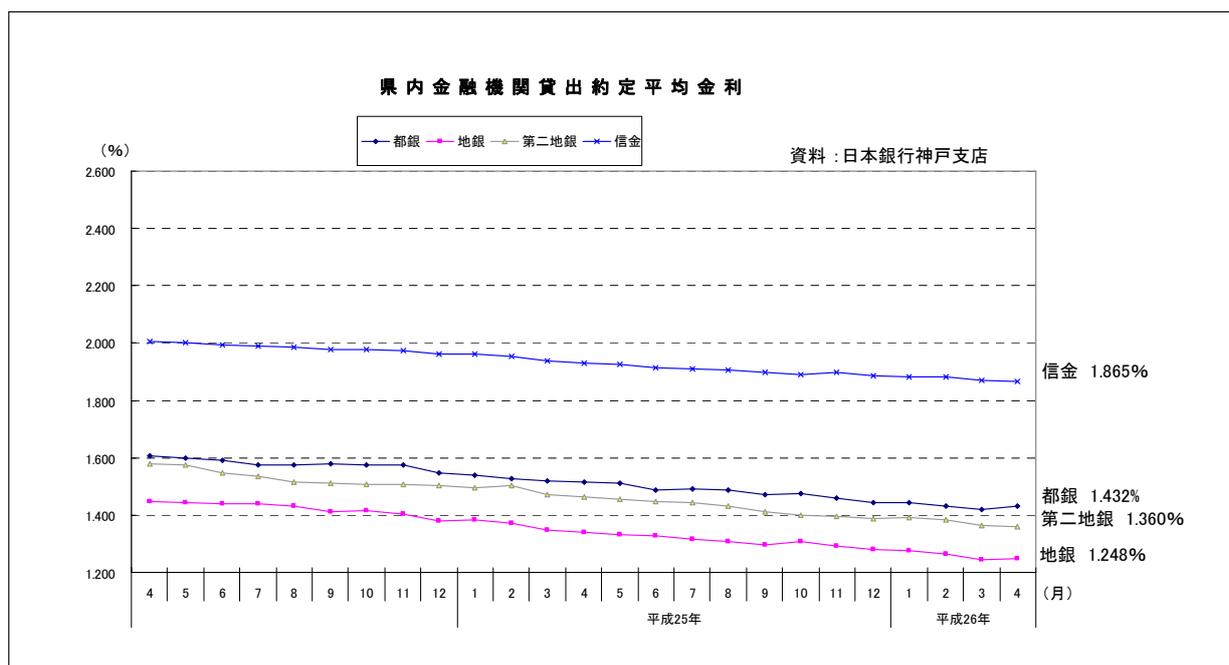
・都銀等＝都市銀行、信託銀行、新生銀行、シティバンク銀行の計。

・その他＝信用組合、労働金庫、商工中金、国民公庫、中小公庫の計。ただし、預金は国民公庫、中小公庫を除く。

4月の預金は、前年を上回って推移している。(前年比+1.9%)

4月の貸出は、前年を上回って推移している。(前年比+1.1%)

4月の貸出約定平均金利(ストックベース)は、緩やかに上昇している(4月末水準 1.542%、前月比 0.006%ポイント)。



## 【倒 産】

県内5月の企業倒産(負債総額1千万円以上、東京商工リサーチ神戸支店)は36件で前年同月比25.00%の減少、負債総額は56億93百万円で同95.30%の増加となった。

倒産件数は、前月比13件(26.5%)の減少。前年同月比では12件(25.0%)の減少となった。また、5月単月では過去10年間(平成17年以降)で最も少ない件数であった。

負債総額は10億円以上の大型倒産の発生は無く、一方で、1億円未満が25件発生、月次倒産における構成比は69.4%となっており、総じて、当月も「小規模倒産」が多く見られた。

原因別(件数)では、「販売不振」を中心とする「不況型倒産」が34件(全体の94.4%)を占めた。

業種別(件数)では、「サービス業他」が11件(前年前月比8件増加)でトップであった。

「資本金別」では、「個人企業他」を含めた資本金1,000万円未満までの倒産が28件発生し、全体の77.8%を占めた。

「産業別」では、「サービス業他」が11件でトップとなった。

上場各社の決算発表は総じて好業績が続いているものの、中小・零細企業を取り巻く経営環境は、人件費負担や原材料関連価格の高止まりなど依然として厳しいのが実情。倒産件数及び負債総額自体は小康状態にあるとも言え、突発的な増加は考え難いが、しかし、低収益に喘ぐ小規模・零細企業は依然として多い為、今後も「小規模倒産」が続くものと見られる。

5月の原因別・業種別の倒産件数

(負債総額1,000万円以上)

原因別						業種別					
	当月	前月	前月比	前年	前年比		当月	前月	前月比	前年	前年比
放漫経営	0	2	-2	4	-4	建設業	8	7	1	15	-7
過小資本	1	2	-1	2	-1	製造業	2	6	-4	7	-5
連鎖倒産	1	5	-4	2	-1	卸売業	9	6	3	10	-1
赤字累積	4	3	1	5	-1	小売業	3	6	-3	5	-2
販売不振	29	35	-6	34	-5	情報通信業	1	0	1	0	1
売掛金回収難	1	0	1	1	0	サービス業	11	19	-8	8	3
その他	0	2	-2	0	0	不動産・運輸業他	2	5	-3	3	-1
合計	36	49	-13	48	-12	合計	36	49	-13	48	-12

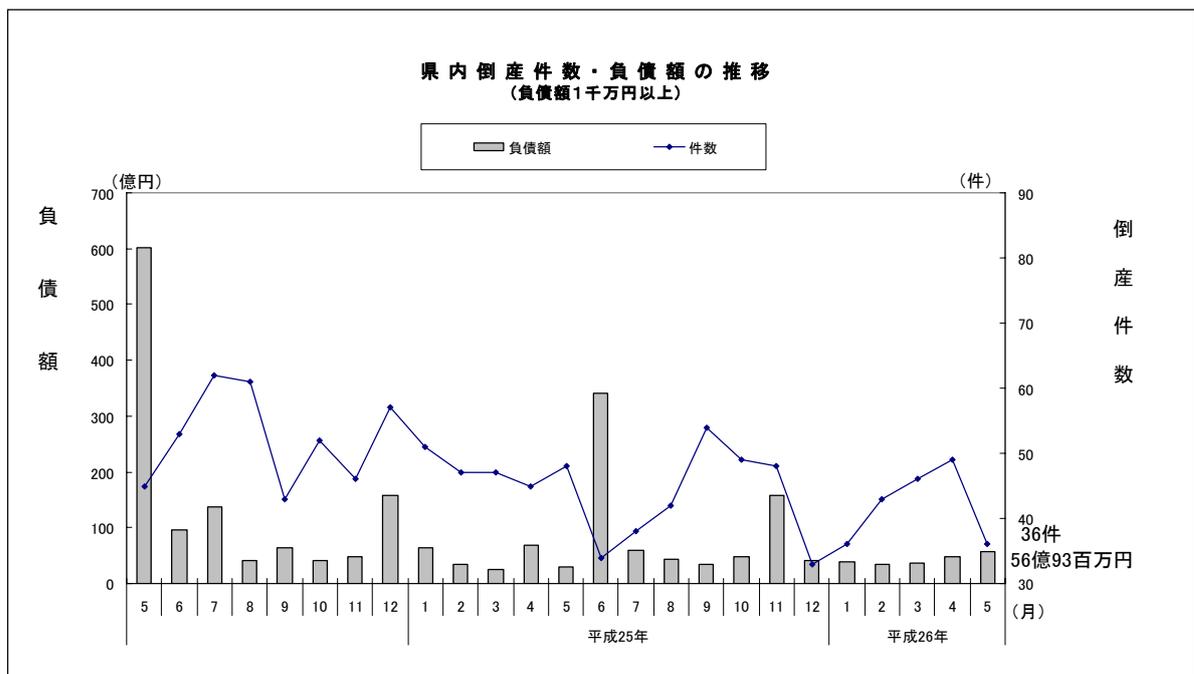
資料：東京商工リサーチ神戸支店

県下企業倒産件数地区別内訳 (負債総額1,000万円以上)

(単位：件数)

年 月	総数	神戸	阪神	西播	東播	但馬	丹波	淡路
19年 平均	59.3	21.3	13.6	8.3	11.3	1.8	1.3	1.7
20年 平均	62.3	20.6	19	7.9	10.6	1.8	1.3	1.1
21年 平均	62.6	21.6	18.5	9.8	9.1	0.9	1.1	1.6
22年 平均	60.8	20.8	20.6	9	6.9	1.4	0.7	1.4
23年 平均	52.2	15.2	17.2	7.9	8.7	1.3	1	0.9
24年 平均	51.9	16	19.4	5.7	6.7	1.3	0.6	2.3
25年 1月	51	13	19	8	3	5	2	1
25年 2月	47	9	21	10	6	0	1	0
25年 3月	47	16	15	5	8	0	0	3
25年 4月	45	13	18	5	7	0	0	2
25年 5月	48	19	20	2	3	2	1	1
25年 6月	34	9	9	6	9	1	0	0
25年 7月	38	17	7	7	4	2	0	1
25年 8月	42	14	14	7	6	1	0	0
25年 9月	54	19	10	11	9	3	1	1
25年 10月	49	17	11	11	4	3	2	1
25年 11月	48	20	15	3	8	0	0	2
25年 12月	33	14	6	5	7	1	0	0
26年 1月	36	11	6	10	6	2	1	0
26年 2月	43	17	8	6	11	1	0	0
26年 3月	46	23	11	9	0	1	1	1
26年 4月	49	18	15	10	4	2	0	0
26年 5月	36	13	14	4	2	2	1	0

資料：東京商工リサーチ神戸支店



# 県内主要経済指標

項目 年月	鉱工業生産指数(季節調整済)				公共工事請負金額			新設住宅着工戸数		
	兵庫県 (22年=100)		全国 (22年=100)		兵庫県		全国	兵庫県		全国
	指数	前月比	指数	前月比	金額	前年比	前年比	戸数	前年比	前年比
		%	%		(億円)	%	%	(戸)	%	%
25年 1月	97.6	0.3	94.0	0.3	183	26.5	6.7	2,155	-23.7	5.0
2月	97.1	-1.3	94.8	0.6	120	-7.3	-4.8	2,607	12.7	3.0
3月	96.5	3.2	95.1	0.9	219	-12.4	-11.7	2,732	-6.5	7.3
4月	92.5	-0.8	95.7	1.7	336	-9.4	128.6	2,443	-5.3	5.8
5月	92.6	-0.9	97.7	1.9	329	70.8	24.8	2,632	2.0	14.5
6月	95.5	1.1	95.0	-3.1	342	28.6	21.7	2,939	11.7	15.3
7月	100.3	3.3	97.6	3.4	339	56.1	29.4	3,100	5.5	12.0
8月	94.0	-5.5	97.1	-0.9	272	52.9	7.9	2,735	-11.8	8.8
9月	97.6	3.5	98.6	1.3	502	100.6	29.4	2,759	8.9	19.4
10月	100.6	2.0	99.2	1.0	364	35.3	3.5	3,719	34.8	7.1
11月	100.4	0.0	99.5	0.1	313	8.1	4.9	4,017	44.5	14.1
12月	104.4	1.3	100.0	0.9	241	25.6	7.5	4,238	32.7	18.0
26年 1月	106.3	3.0	103.9	3.8	157	-14.2	28.8	2,504	16.2	12.3
2月	103.7	-2.9	101.5	-2.3	193	60.5	3.7	2,789	7.0	1.0
3月	103.1	-0.6	102.2	0.7	263	20.2	18.1	2,545	-6.8	-2.9
4月	101.5	-1.5	99.3	-2.8	554	64.6	10.0	2,719	11.3	-3.3
5月					331	0.5	14.4			
6月										
7月										
8月										
9月										
10月										
11月										
12月										
資料	兵庫県統計課		経済産業省		西日本建設業保証(株) 兵庫支店			兵庫県住宅地課		国土交通省

\* p は速報値 r は確報値

項目 年月	乗用車新車登録台数 (含む軽自動車)			百貨店売上高			輸出入状況(神戸港)			
	兵庫県		全国	兵庫県		全国 (既存店)	輸出		輸入	
	台数	前年比	前年比	金額	前年比	前年比	金額	前年比	金額	前年比
	(台)	%	%	(億円)	%	%	(億円)	%	(億円)	%
25年 1月	13,378	-6.2	-7.4	192	4.6	0.3	3,522	7.4	2,371	0.8
2月	16,941	-7.9	-8.1	143	-0.9	0.7	3,862	-11.7	2,058	14.5
3月	21,468	-13.9	-11.0	176	3.5	4.0	5,051	3.5	2,235	0.3
4月	11,979	2.1	0.7	160	-2.9	-0.4	4,459	1.4	2,504	16.4
5月	12,231	-5.0	-8.7	157	-4.5	2.8	4,194	6.6	2,625	11.2
6月	15,343	-9.2	-12.5	165	1.1	7.5	4,515	2.2	2,327	11.5
7月	15,195	-7.3	-9.7	155	-7.8	-2.2	4,379	3.3	2,638	18.2
8月	11,926	1.4	-1.6	145	-3.6	3.0	4,342	7.7	2,474	9.6
9月	17,366	14.1	18.1	144	-1.4	3.0	4,382	2.6	2,600	27.3
10月	13,869	21.2	18.4	158	-5.8	-0.4	4,507	11.8	2,644	14.1
11月	14,661	22.0	16.7	183	-0.9	2.6	4,293	13.0	2,499	10.1
12月	13,905	22.6	26.5	251	-2.7	1.9	4,653	4.7	2,495	16.7
26年 1月	17,055	27.5	30.6	187	-2.7	3.2	3,543	0.6	2,984	25.9
2月	20,071	18.5	18.8	147	2.8	2.9	4,442	15.0	2,106	2.3
3月	25,740	19.9	16.7	223	26.8	25.3	4,845	-4.1	2,639	18.1
4月	10,732	-10.4	-5.1	135	-15.4	-10.1	4,564	2.4	2,601	3.8
5月	11,762	-3.8	-1.3	151	-3.7		p 4,330	3.2	p 2,600	-1.0
6月										
7月										
8月										
9月										
10月										
11月										
12月										
資料	自販連兵庫県支部 兵庫県軽自動車協会			兵庫県百貨店協会		近畿経済 産業局	神戸税関			

\* p は速報値 r は確報値

\* 百貨店売上高の前年比は店舗調整後

項目 年月	有効求人倍率 (パートを含む)		県下常用労働者数 (30人以上,月末推計)		県下名目賃金指数 (定期給与,30人以上)		消費者物価指数 (22年=100)			
	兵庫県	全国	全産業 (千人)	前年比 %	指数 (22年=100)	前年比 %	神戸市		全国	
							指数	前年比 %	指数	前年比 %
25年 1月	0.70	0.84	1,040	-1.2	99.4	0.7	98.7	-0.9	99.3	-0.3
2月	0.71	0.85	1,035	-0.4	99.8	0.9	98.7	-1.4	99.2	-0.7
3月	0.71	0.86	1,032	-0.2	100.5	0.4	99.1	-1.3	99.4	-0.9
4月	0.74	0.89	1,043	-0.9	101.6	1.1	99.3	-1.0	99.7	-0.7
5月	0.76	0.92	1,047	-0.3	100.7	1.9	99.9	-0.3	99.8	-0.3
6月	0.76	0.92	1,051	0.0	101.1	0.9	100.0	0.2	99.8	0.2
7月	0.76	0.94	1,053	0.0	100.4	0.4	100.1	0.5	100.0	0.7
8月	0.78	0.95	1,050	0.0	100.0	0.4	100.2	0.3	100.3	0.9
9月	0.76	0.95	1,046	-0.5	100.2	0.9	100.5	0.7	100.6	1.1
10月	0.77	0.98	1,048	0.1	100.8	1.5	100.7	1.2	100.7	1.1
11月	0.78	1.00	1,051	0.2	101.0	1.2	100.7	1.8	100.8	1.5
12月	0.82	1.03	1,050	0.3	101.7	1.3	100.8	1.9	100.9	1.6
26年 1月	0.83	1.04	1,043	0.4	100.4	1.0	100.3	1.6	100.7	1.4
2月	0.86	1.05	1,039	0.5	100.6	0.8	100.4	1.7	100.7	1.5
3月	0.85	1.07	1,039	0.4	101.1	0.6	100.9	1.8	101.0	1.6
4月	0.87	1.08	1,050	0.3	102.5	0.9	102.4	3.1	103.1	3.4
5月							102.9	3.0		
6月										
7月										
8月										
9月										
10月										
11月										
12月										
資料	兵庫県労働局		兵庫県統計課				兵庫県統計課		総務省	

項目 年月	国内企業物価指数 (H24.5より22年=100)		県下金融機関 貸出金残高		貸出約定 平均金利	県下企業倒産(負債1,000万円以上)				
	全国		金額		全国銀行	件数	金額	地域別倒産件数		
	指数	前年比 %	(各期末)	前年比 %				神戸	阪神	播磨他
25年 1月	100.5	-0.4	150,340	0.1	1.358	51	65	13	19	19
2月	101.0	-0.1	150,096	0.4	1.346	47	34	9	21	17
3月	101.1	-0.5	152,787	0.4	1.325	47	25	16	15	16
4月	101.5	0.1	150,606	0.2	1.321	45	69	13	18	14
5月	101.6	0.6	150,286	0.0	1.319	48	29	19	20	9
6月	101.6	1.2	151,520	0.6	1.303	34	341	9	9	16
7月	102.2	2.2	150,656	0.1	1.296	38	58	17	7	14
8月	102.4	2.3	151,104	0.6	1.291	42	42	14	14	14
9月	102.6	2.2	152,378	0.4	1.291	54	34	19	10	35
10月	102.5	2.5	151,258	1.0	1.277	49	47	17	11	21
11月	102.5	2.6	152,669	1.7	1.271	48	157	20	15	13
12月	102.8	2.5	153,631	1.5	1.258	33	41	14	6	13
26年 1月	103.0	2.5	152,338	1.3	1.254	36	38	11	6	19
2月	102.8	1.8	152,315	1.5	1.250	43	33	17	8	18
3月	102.8	1.7	155,384	1.7	1.234	46	37	23	11	12
4月	105.7	4.1	152,315	1.1	1.233	49	47	18	15	16
5月	106.1	4.4				36	56	13	14	9
6月										
7月										
8月										
9月										
10月										
11月										
12月										
資料	日本銀行					(株)東京商工リサーチ 神戸支店				

\* p は速報値 r は確報値